

ジェイアールバス東北本部

第29号

2022年2月25日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申7号 2022年度夏季ダイヤに関する申し入れを行う！

長期化している新型コロナウイルス感染症の影響により、ジェイアールバス東北会社も引き続き厳しい経営状況となっています。コロナ禍の2年間で、古川営業所と秋田支店の仙台支店への業務移管やダイヤの見直しなど、数々の効率化施策が図られてきました。会社経営を持続させるための見直しは必要であると考えてますが、一部の行路について、疲れが取れない、家族と一緒にいる時間が減ったなどの声もあります。また、相次ぐ退職者によって要員が不足し休日出勤が常態化している職場もあります。これらについてJR東労組バス東北本部としても各分会と連携し「究極の安全」を最大の価値基軸として多方面にわたり組合員との議論をしてきており、現行のダイヤについても解消すべき課題があると認識しています。

2022年度夏季ダイヤについては、大幅なダイヤ改正や新規路線などの計画は無いものの、すでに奥羽本線や陸羽西線の列車代行が計画されており、このことについても乗務員の勤務や要員、業務内容について様々な意見が出されています。

組合員・社員の安全・安心・働きやすい職場をつくり出すために、2月25日に下記の通り申し入れを行いました。

1. 2021年10月1日から2022年1月31日の間において乗務員勤務制度、協約・協定、労働基準法上の問題点を明らかにした上で遵守すること。
2. 2021年度夏季ダイヤ改正における検証事項と内容について明らかにすること。
3. 運行管理、点呼体制、安全設備等は問題の無いようにすること。
4. 各現場の要員数とダイヤに対する適正要員を明らかにし、要員不足箇所については速やかに対策を講じること。
5. 泊まり行路の泊所の施設及び休息、休憩時間に利用する休憩箇所設備等は問題のないようにすること。
6. 各現場において拘束時間が13時間を超えるダイヤについては健康維持、休憩時間確保のため13時間以内となるように改善すること。
7. 乗務員負担軽減のために2泊以上の泊まり行路の最終日については、早めの退勤となるような行路とすること。
8. 現在、運休・減便している便も含め、今後のダイヤ等の施策について明らかにすること。
9. 収益性向上とお客さまの利便性向上の観点から、ドリーム福島・東京号を羽田空港経由とし、首都圏発着点を以前の横浜駅東口に戻すこと
10. 現業機関の業務移管により業務量の負担が大きくなっていることから、各職場の意見を最大限尊重したダイヤを作成すること。

**安全で働きやすい職場をつくり出すために
組合員の声を基に職場運動を強化しよう！**